

明日をもっと、**こ**こちよく

# GUNZE

## 株主のみなさまへ

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
当社グループは2013年3月末をもって第117期を終了いたしましたので、ご挨拶  
をかねて連結決算概況についてご報告するとともに、当社のセグメント別内容  
などについても併せてご報告申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。

第**117**期  
株主通信

### グンゼ株式会社

### 「疾風勁草」を行動の原点とし、 全員の心と力を結集して グンゼの底力を発揮します！

当期のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復の兆しが見られ、平成24年12月の安倍政権発足後は政権の経済政策に期待が高まりつつあるものの、欧州の債務問題に加え新興国の景気減速の影響、さらにエネルギーコストの上昇や消費税増税への不安など、依然として不透明感が強く、総じて厳しい経営環境が続きました。

このような状況において当社では、2年目となる中期経営計画「Innovation 4S(平成23年度～平成25年度)」の重点戦略である「成長確保」と「体質強化」を両輪として、激変する市場環境への対応力強化に取り組みました。機能ソリューション事業は、海外経済の減速や原材料価格の高騰などにより厳しい状況が続きました。アパレル事業は、原価改善効果が見られたものの、流通構造の変化や消費者の低価格志向への対応遅れなどにより、全般的に苦戦を強いられ、売上減少に歯止めがかかりませんでした。その結果、当連結会計年度の売上高は1,323億円(前期比3.1%減)、営業利益は17億円(前期比67.2%増)、経常利益は23億円(前期比138.8%増)となりました。また電子部品分野の固定資産減損損失を計上したことから、当期純損失は11億円(前期は純利益5億円)となりました。

次期の見通しにつきましては、日本経済は輸出産業を中心に徐々に明るい兆しが見え、政府の景気対策の効果などによる経済成長が見込まれる一方、急激な円安による原材料価格の高騰や消費税増税に向けた動き、電気料金の値上げなど、企業業績や消費マインドを悪化させるリスク要因を多くはらんでおり、当社グループを取り巻く経営環境は、予断を許さない状況が継続するものと予想されます。

このような環境の中で、当社グループは、事業ごとに重点戦略



平成25年 6 月

こ だ ま のどか  
代表取締役社長 **児玉 和**

課題を明確化し、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。機能ソリューション事業では特に電子部品分野で透過型静電容量タッチパネルの需要増に対応し、生産能力の大幅な拡大を図ります。また、アパレル事業では、インナーウェア分野の工場機能の集約や海外シフト、不採算部門の効率化などを推進し、収益体質へ変革いたします。ライフクリエイティブ事業では、競合他店との差異化をさらに進め、お客さまに「こちよさ」をご提供できるサービスを充実させ、収益力の向上を図ってまいります。

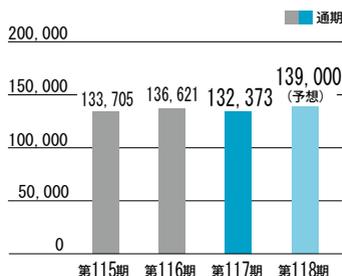
以上により次期(平成25年4月1日から平成26年3月31日)の連結業績につきましては、売上高1,390億円、営業利益30億円、経常利益29億円、当期純利益15億円を予想しております。

グンゼグループの現状は非常に厳しいものがありますが、しかし、厳しいときにこそ原点・基本に立ち返り、「疾風勁草」を行動の原点とし、全員の心と力を結集して底力を発揮して参ります。今後とも株主の皆さまには、変らぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 決算ハイライト

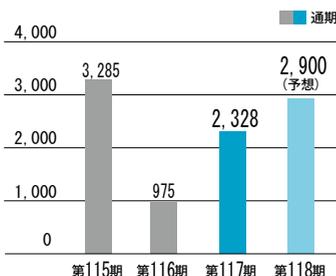
## 売上高

単位：百万円



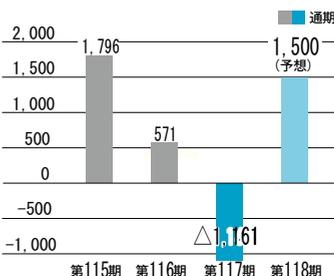
## 経常利益

単位：百万円



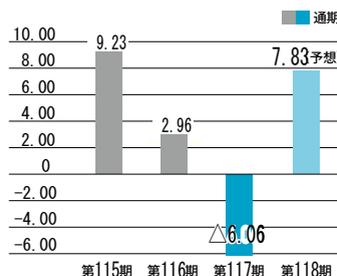
## 当期純利益

単位：百万円



## 1株当たり当期純利益

単位：円



# 連結業績のご報告

## 連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	平成24年3月31日現在	平成25年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	75,392	73,454
固定資産	93,125	89,873
有形固定資産	68,746	65,304
無形固定資産	1,916	1,674
投資その他資産	22,462	22,894
資産合計	168,517	163,328
<b>負債の部</b>		
流動負債	43,344	36,086
固定負債	14,975	18,495
負債合計	58,319	54,582
<b>純資産の部</b>		
株主資本	111,752	109,233
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,080	14,064
利益剰余金	79,255	76,700
自己株式	△7,655	△7,603
その他の包括利益累計額	△2,773	△1,623
新株予約権	253	268
少数株主持分	964	876
純資産合計	110,197	108,745
負債および純資産合計	168,517	163,328

### 流動資産 前期比19億円減少

たな卸資産15億円、受取手形及び売掛金8億円の減少などにより、全体では19億円の減少となりました。

### 固定資産 前期比32億円減少

機械装置及び運搬具15億円の減少、建設仮勘定10億円の減少、建物及び構築物7億円の減少などにより、全体では32億円の減少となりました(減損損失26億円を含む)。

### 流動負債 前期比72億円減少

コマーシャル・ペーパーを含む短期借入金70億円の減少などにより、全体では72億円の減少となりました。

### 固定負債 前期比35億円増加

長期借入金39億円の増加などにより、全体では35億円の増加となりました。

### 純資産 前期比14億円減少

当期純損失の計上11億円、配当金の支払14億円、為替換算調整勘定の増加13億円などにより、全体では14億円の減少となりました。

## 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

科目	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
売上高	136,621	132,373
売上総利益	33,904	33,360
販売費及び一般管理費	32,880	31,650
営業利益	1,023	1,710
営業外損益	△47	618
経常利益	975	2,328
特別損益	1,339	△3,673
税金等調整前当期純損益	2,315	△1,344
当期純損益	571	△1,161

### 売上高 前期比3.1%減少

機能ソリューション事業で19億円の減収、アパレル事業で29億円の減収、ライフクリエイティブ事業で4億円の増収となり、全体では42億円の減収となりました。

### 営業利益 前期比67.2%増加

機能ソリューション事業で7億円の減益、アパレル事業で12億円の増益、ライフクリエイティブ事業で1億円の増益となり、全体では6億円の増益となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円、単位未満切捨て)

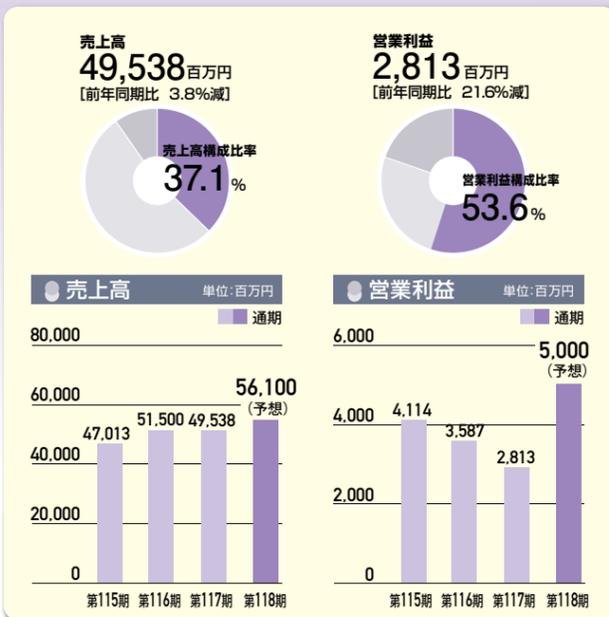
科目	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,417	12,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,780	△7,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,373	△5,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	△111	224
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△936	△97
連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	109	89
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,078	6,070

### 当期純損失 11億円

電子部品の生産設備について減損損失26億円を計上したことなどにより、11億円の当期純損失となりました。

### 営業活動によるキャッシュ・フロー 前年同期比137億円増加

減価償却費75億円、たな卸資産の減少26億円などにより123億円の収入となり、前期比137億円の増加となりました。



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

## セグメント概況 機能ソリューション事業

プラスチックフィルム分野は、主力の平板収縮フィルムでは市場全体の縮小で苦戦しましたが、野菜向け防曇フィルムや半導体向けフィルムなどが堅調に推移しました。エンジニアリングプラスチック分野は、OA機器用部材が印刷抑制による需要停滞に苦戦しましたが、一般産業用途は半導体向けの新開発商品が伸長しました。電子部材分野は、Windows8関連のパソコン向けタッチパネルの受注活動に注力し、第4四半期以降は稼働率も向上しましたが、経営貢献には至りませんでした。メディカル分野は、日本及び韓国・中南米への販売が伸長するなど堅調に推移しました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は49,538百万円(前期比3.8%減)、営業利益は2,813百万円(前期比21.6%減)となりました。

### プラスチックフィルム分野

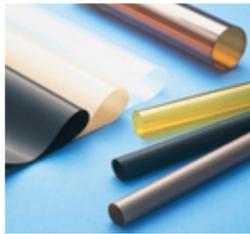
ペットボトルに使われているシュリンクフィルムや、もやし、きのこ類などの食品包装用の「くもりにくいフィルム」などを開発・製造・販売しています。



食品の袋に使用されるOPPフィルム

### エンジニアリングプラスチック分野

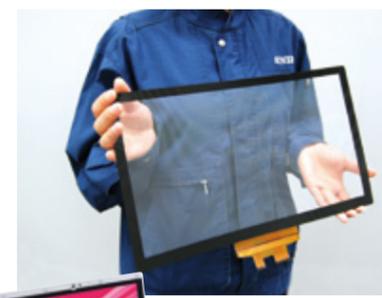
複写機やプリンタなどのOA機器の機能部品など、高付加価値を追求した製品開発などに取り組んでいます。



複写機やプリンタなどに使用される機能部品

### 電子部材分野

パソコンや医療機器、ファクトリーオートメーションなどで使用されるタッチパネルの生産、販売を行っています。ウインドウズ8パソコンに搭載される高性能タッチパネルの需要の拡大に対応するため、生産能力の増強を急ピッチで進めています。



パソコンなどに使用されるタッチパネル

### メディカル分野

体内で安全に分解、吸収される骨接合材をはじめ、再生医療の足場となる吸収性素材を豊富にラインナップしています。



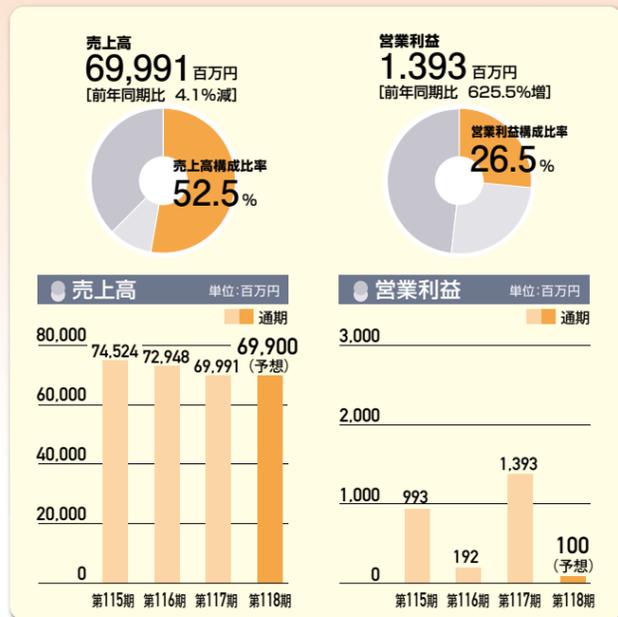
吸収性骨接合材 吸収性縫合糸

### メカトロ分野

包装、印刷業界向けに作業効率化や自動化を目指した製造用機械を提供しています。中国をはじめとした東南アジアへの拡大も進めています。



印刷物を揃えて結束する横型スタッカーバンドラ



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

## セグメント概況 アパレル事業

インナーウェア分野では、カジュアルインナーのボディワイルドは新商品展開により伸長しましたが、主力のベーシック商品が引き続き苦戦しました。また、原価改善や固定費の削減などの効果で収益性は改善しました。レッグウェア分野は、プレーンストッキングや機能性を高めたベーシック商品が好調に推移し、新トレンドとしてレギンスパンツ(レギパン)がヒット商品となりました。以上の結果、アパレル事業の売上高は69,991百万円(前期比4.1%減)、営業利益は1,393百万円(前期比625.5%増)となりました。

### インナーウェア分野

紳士肌着では、年齢に左右されない普遍的なカッコよさを目指した「ボディワイルドEX」シリーズを新たに追加展開しました。また、シニアの体型変化や悩みに対応する下着「グランフィット」を2013年春に発売。成長が見込める市場での販売拡大を目指します。



人気のトランクス「ボディワイルドEX」

シニア世代を狙った肌着「グランフィット」



「キレイラボ」で下着を見直す

婦人肌着では、エイジング世代をターゲットとしたKIREILABO(キレイラボ)を重点商品として展開しています。下着を通じて女性のQOL(クオリティオブライフ)の向上を応援します。

### レッグウェア分野

女性の「美しくなりたい」という思いをかなえるため、ファッション性と機能性を兼ね備えた最新のレッグファッションを提案しています。



人気のストッキング「ミリカ」

### ハウスカジュアル分野

心とカラダのリラックスを追求する「快眠」をテーマに、素材や機能性を考えたパジャマなどを展開しています。



夏は涼しく、冬はあったか「カイミンナビ」

### 繊維資材分野

アパレル用ミシン糸だけでなく自動車のエアバッグ用ミシン糸など幅広く展開しています。販売地域は、日本国内だけでなく、アジア全域で拡大を続けています。2013年8月には、バングラデシュで新工場が稼働する予定です。



エアバッグ用ミシン糸

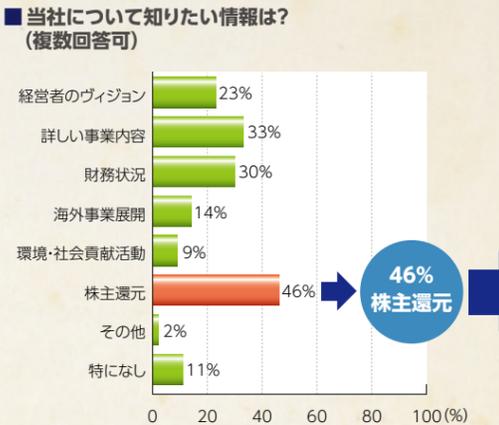
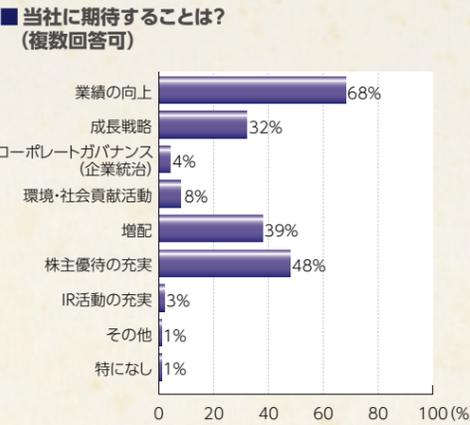
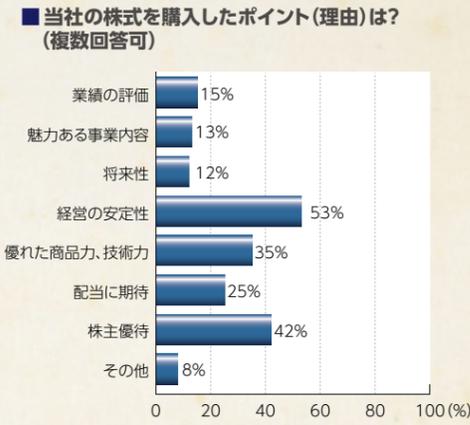


エアバッグ

## 株主優待アンケート結果のご報告

株主さまのご期待に応えるため昨年中間期(9月末)にアンケート調査を実施いたしました。19,060通(回答率86.4%)もの多くのご回答をいただき厚く御礼申し上げますとともにその集計結果とご意見の一部を紹介させていただきます。

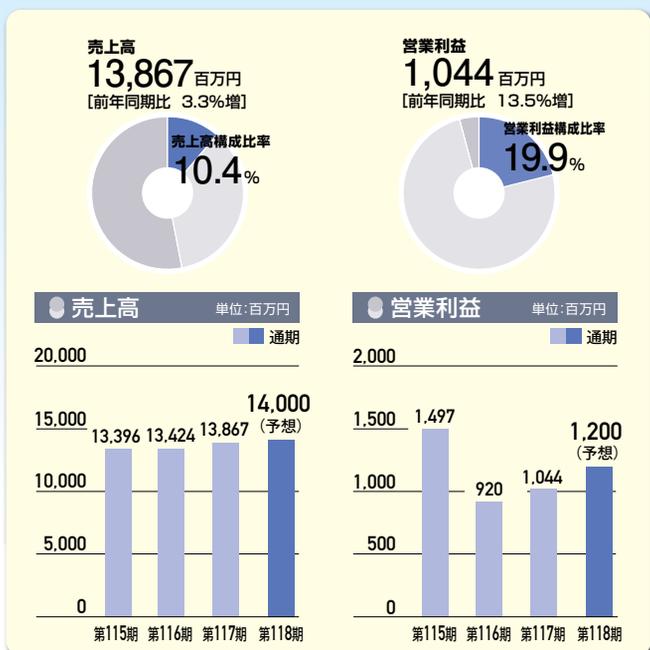
なお、皆さまからいただきました貴重なご意見を今後の事業運営や情報発信に活かしてまいります。



46% 株主還元

## セグメント概況 **ライフクリエイティブ事業**

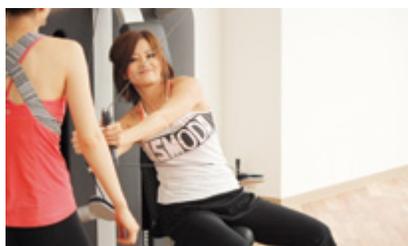
不動産関連分野は、商業施設「グンゼ タウンセンター つかしん」が「にしまち」のリニューアルにより全体の回遊性が向上し、下期は売上高・来街者数ともに好調に推移しました。スポーツクラブ分野は、新サービス・新スクールの拡充により会員数を伸ばし堅調に推移し、緑化事業分野も好調に推移しました。以上の結果、ライフクリエイティブ事業の売上高は13,867百万円(前期比3.3%増)、営業利益は1,044百万円(前期比13.5%増)となりました。



(注)セグメント合計は、セグメント間で発生した売上、利益を調整する前の数値です。

### スポーツクラブ分野

グンゼスポーツクラブは、2012年4月の京都店に続いて8月にも神戸ハーバーランド店をオープンし、全国で18店舗となりました。店舗ごとに地域性を生かし、ノルディックウォーキングや、ランニングなど豊富なメニューを準備しています。



マシントレーニングの様子



ノルディックウォーキング



神戸を走る「日曜ラン」

### 商業デベロッパー分野

工場跡地を活用し、地域のお客さまに居ごちのよさを提供しています。2012年秋にはつかしんの「にしまち」が改装オープンしました。



グンゼタウンセンター つかしん(兵庫県尼崎市)



買物客でにぎわう「にしまち」

### 温浴分野

「つかしん」の日帰り温泉施設「湯の華廊」。源泉掛け流しの露天風呂や岩盤浴など16種類のお湯が楽しめます。



### エンジニアリング分野

省エネや設備保全のノウハウを活用し、ビルや工場の省エネ提案を行っています。また、国内の遊休地などを活用し、太陽光発電事業にも参入する予定です。



### 緑化分野

良質の樹木や花、環境浄化木「ヒマラヤザクラ」などの販売を行っています。



## 株主還元について

グンゼは、株主に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、中期的な業績見通しに基づき安定的・継続的な株主還元を行っています。

**1 配当7.5円** 上場以来62年間、7.5円/株以上の安定配当を実施

**2 自社株も取得** 状況に応じ自社株も取得

**3 適切な情報開示** 株主・投資家はじめ、すべてのステークホルダーに対し企業情報の積極的開示に努め、健全で透明性の高い経営を実践

**4 株主優待** 1,000株以上保有の株主 **年2回** 毎年9月末・3月末

9月末(中間期) **自社製品** 株式保有数と保有年数に応じてグンゼ商品を贈呈 **長期保有でさらに優遇!**

株式保有年数	3年未満	3年以上5年未満	5年以上	
保有株数	1,000~2,999株	2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
	3,000株以上	4,000円相当	6,000円相当	8,000円相当

相当金額分をグンゼオンラインストアで使用できるクーポン券または

「東日本大震災」復興支援の寄付【寄付先】あしなが育英会にも変更できます

さらに+ 通販カタログ「セレストイル」、他の商品 **30%割引優待**

3月末(期末) 通販カタログ「セレストイル」、他の商品 **30%割引優待**



## 取締役、監査役、執行役員、主な連結子会社 (平成25年6月25日現在)

### 取締役、監査役

代表取締役会長 (CEO)	平田 弘
代表取締役社長兼社長執行役員 (COO)	児玉 和
常務取締役兼常務執行役員 経営戦略部長 (CHO兼CSRO兼CRO)	服部 和徳
取締役 (社外)	天野 勝介
取締役 (社外)	白井 文
取締役兼執行役員 研究開発部長	鈴木 昌和
取締役兼執行役員 アパレルカンパニー長 (CLO)	浜村 眞
取締役兼執行役員 アパレルカンパニーインナーウェア事業本部長 (CCO)	廣地 厚
取締役兼執行役員 経営戦略部次長 (CFO兼CMAO兼CIO)	古川 知己
取締役兼執行役員 人事・総務部長 (CHO代理)	赤瀬 康宏
監査役 (常勤)	下井 幸夫
監査役 (社外)	亀徳 忠正
監査役 (社外)	杉山 清次
監査役	丹原 英夫

取締役を兼務するもの以外の執行役員は以下の通りです。

### 執行役員

執行役員 技術開発部長 (CTO) 兼 グンゼ物流株式会社 代表取締役社長	友松 孝夫
執行役員 繊維資材事業部長	岡 修也
執行役員 プラスチックカンパニー長	佐口 敏康
執行役員 エンプラ事業部長	木村 克彦
執行役員 メディカル事業部長	森田真一郎
執行役員 グンゼ開発株式会社 代表取締役社長	溝口 克彦
執行役員 グンゼスポーツ株式会社 代表取締役社長	佐藤 雅之

### 主な連結子会社

福島プラスチック株式会社	Gunze Plastics&Engineering Corporation of America	(米国)
グンゼ包装システム株式会社	上海郡是新塑材有限公司	(中国)
グンゼ高分子株式会社	Gunze Electronics U.S.A.Corp.	(米国)
東北グンゼ株式会社	GGI Technology Ltd.	(香港)
九州グンゼ株式会社	Guan Zhi holdings Ltd.	(香港)
グンゼ開発株式会社	Dongguan Guan Zhi Electronics Ltd.	(中国)
株式会社つかしんタウンクリエイト	山東冠世針織有限公司	(中国)
グンゼスポーツ株式会社	Gunze(Vietnam)Co.,Ltd.	(ベトナム)
	上海郡是通虹纖維有限公司	(中国)

(注)当社は、チーフオフィサー制度を採用し、チーフオフィサーで構成する経営執行会議にて、経営重要事項の審議を行い、意思決定の迅速化を図っております。

CEO	Chief Executive Officer (最高経営責任者)
COO	Chief Operating Officer (最高執行責任者)
CHO	Chief Human-Resources Officer (人事担当)
CSRO	Chief Corporate Social Responsibility Officer (CSR担当)
CRO	Chief Research & Development Officer (研究開発担当)
CLO	Chief Logistics Officer (物流担当)
CCO	Chief Compliance Officer (コンプライアンス担当)
CFO	Chief Financial Officer (財務担当)
CMAO	Chief Management & Accounting Officer (経営・管理担当)
CIO	Chief Information Officer (情報担当)
CTO	Chief Technical Officer (技術担当)

## 株式の状況 (平成25年3月31日現在)

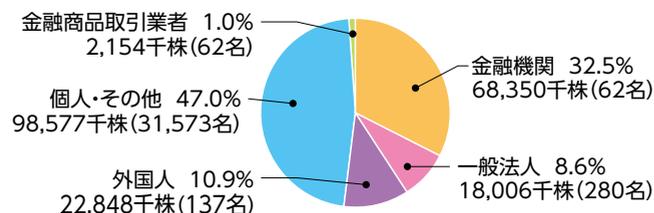
発行済株式総数 ..... 209,935,165株

◎自己株式 (平成24年4月1日から平成25年3月31日)

取得	12千株 (2百万円)
処分	131千株 (54百万円)
期末	18,251千株 (7,603百万円)

◎単元株式数：1,000株

株主数 ..... 32,114名



(注)円グラフは発行済株式総数に対する保有割合

### 大株主一覧 (上位10社)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	29,150	15.20
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,131	3.19
株式会社京都銀行	5,875	3.06
第一生命保険株式会社	5,529	2.88
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	4,390	2.29
日本興亜損害保険株式会社	4,380	2.28
株式会社GSIクレオス	4,205	2.19
資産管理サービス信託銀行株式会社	3,227	1.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,868	1.49
グンゼグループ従業員持株会	2,671	1.39

(注)当社は、自己株式18,251千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 会社の概況 (平成25年3月31日現在)

社名	グンゼ株式会社
設立年月日	明治29年8月10日
資本金	26,071百万円
従業員	2,016名(単体) 8,285名(連結)
本店	京都府綾部市青野町膳所1番地
大阪本社	大阪市北区梅田一丁目8番17号 (大阪第一生命ビル) TEL(06)6348-1313
東京支社	東京都中央区日本橋二丁目10番4号 TEL(03)3276-8710

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日(毎年6月下旬開催) 期末配当金 3月31日
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京(第1部)、大阪(第1部)
証券コード	3002
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL: 0120-094-777(通話料無料)

GUNZE

グンゼ株式会社

大阪市北区梅田一丁目8番17号(大阪第一生命ビル)

ホームページはこちらから

グンゼ

検索

